

はやし みき
林 美希 議員



安全・安心確保のための 制度整備について

問 保護者が不在の中で未成年が利用する行政サービスにおいて、こども同士およびこどもと職員との間で発生する私物（メガネや障害補装具など日常生活を送る上で必要性が高いもの）の物損事故について実態調査を行い、必要があれば対応の整備、保険拡充などの研究・検討を行っていただきたい。こども、職員双方を支える制度として考える必要がある。「①学童や保育所、児童発達センターなど」「②小中学校」それぞれ見解を伺う。

答 ①これまでの発生事例などを参考にしながら対応目安を定めるとともに、保護者にも損害賠償の責めを負っていただく場合があり得ることをあらかじめお知らせしていく。②市教委への報告事例がほばないことから直ちに実態調査を行う考えはないが、必要に応じてスクールロイヤーの助言も求めながら管理職も含めた組織的な対応を図るよう、また統一的なルール等が必要であるとか、困りごとがある場合には伝えるよう、校長会・教頭会でも話していく。

まつざき まこと
松崎 誠 議員



野田橋周辺の渋滞緩和と 道路整備について

問 野田橋周辺では長年にわたり朝夕の交通渋滞が続いています。県は主要地方道越谷野田線の田島工区整備を進めていますが、東埼玉道路から野田橋までの約1 km区間は未整備のままです。田島工区の事業内容や進捗、本市への効果を伺うとともに、野田橋周辺の渋滞緩和に向けた今後の整備方針、千葉県と連携した野田橋架け替え計画の現状、市の取り組みについて伺います。

答 東埼玉道路からテクノポリス北側の市道316号線までの約570 m区間については、現在、埼玉県により用地取得に向けた地権者との交渉が進められています。今後、用地が確保できた区間から順次工事に着手する予定です。この整備により、東埼玉道路との接続強化による交通の円滑化や利便性の向上が期待されています。また、周辺道路の交通環境改善にもつながるものと考えています。市としては、事業の進捗状況を注視するとともに、埼玉県と連携しながら早期整備に向けた取り組みを進めてまいります。

ゆき た
雪田 きよみ 議員



旭小学校・三輪野江小学校の 今後について

問 旭小学校と関小学校の統合について、教育委員会で話し合った議事録がない。今年2月になって初めて上程されている。教育委員会の役割として、学校の設置、運営管理と共に地域住民との連携も非常に重要な役割として位置づけられている。小規模学校は市が目指す「個別最適化」や「非認知能力の向上」にとって有効な教育環境ではないか。小規模学校の良さ、問題、地域住民の不安な気持ちなどを教育委員会としてどう考えるのか、きちんと審議すべきではないか。統合の結論ありきで教育委員会に提起し、了承を得ているのではないか。教育委員会の独立性がうまく発揮されていないのではないか。

答 最初の市長キャラバンが行われた令和6年12月から、教育委員とは密に話をしている。小規模学校のメリットは当然あるが、より子どもたちを伸ばす環境整備を考えたときに統合が良いのではないかと議案を上程し、了承をいただいた。結論ありきではなく、議論を重ねる中で結論にたどり着いた。

えんどう よしのり
遠藤 義法 議員



健康づくりの 市民自助意識向上策のために

問 特定健診の受診率を高め、市民の健康づくりの自助努力の意識向上、行動に繋げていくことが必要です。その方策として、市民（団体）と行政がプロジェクトを組織し、協力して取り組むべきと考えます。市の見解を伺います。

答 特定健診やがん検診などの受診率は健康づくりの大きな指標になります。プロジェクトチームなどによる取り組みについては、役割や責任の明確化などにおいて課題があります。知見や経験を有する市民や団体と情報共有や意見交換を行ってきた経緯もあります。これからも様々な連携を図りつつ、市民の健康増進に努めます。

問 特定健診受診率全国トップの山形県内市町村の事例は、医師会と定期的に意見交換し、状況を把握しながら健康づくりを進めています。吉川の医師会のみなさんに協力を要請し、受診率向上・健康づくり施策実施の考えは。

答 医師会とは日頃から保健事業を行うにあたって連携を取っております。年に1回、次年度の保健事業に向けての事前協議を行っています。